

IT 契約管理・IT 法務の基礎知識（紛争の事前予防のための必須知識）

～ 主として委託側、購買側の視点で解説します ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2017年 4月 14日（金） 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

《開催にあたって》

日頃、ITに関する契約業務を担当される法務部門、情報システム部門、購買部門などのご担当者を対象として、IT業界の取引・契約慣行、IT契約の基本的な理解、さらに押さえておくべき周辺の関連法、そして近時のトピックまでを短時間で解説致します。Q & Aも十分に時間を割いて行う予定です。

講師 芝総合法律事務所 弁護士・米国弁護士・弁理士 牧野和夫 氏



1981年早稲田大学法学部卒。いすゞ自動車（株）入社。General Motors Institute 経営管理課程修了。ジョージタウン大学ロースクール法学修士号。1992年米国ミネソタ州弁護士登録。1981年～1997年いすゞ自動車（株）課長・審議役。1997年～2000年アップルコンピュータ（株）法務部長。2000年～芝総合法律事務所顧問、2001年～2004年内閣司法制度改革推進本部法曹養成検討会委員。尚美学院大学大学院客員教授、早稲田大学大学院、関西学院大学大学院、関西学院大学商学部・法学部、明治学院大学法学部、駒澤大学法学部の各兼任講師を経て現職。法律英語や英文契約書に関する著書多数。

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料：1名（税込・昼食代含） ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	37,800円（本体価格 35,000円）	一般	41,040円（本体価格 38,000円）
-----	-----------------------	----	-----------------------

171069-0303 IT 契約管理・IT 法務の基礎知識

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認いただけます。（[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]）

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL：03-5215-3514 FAX：03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

・プログラム・

1. IT業界の取引・契約体系の概観

- (1) IT契約はどこで生まれてどのように利用されてきたか？（元々IT契約は米国発が多い）
- (2) IT取引とは何か ITサービスの取引をいう
- (3) IT取引とIT契約の特殊性（通常の取引と異なり大きなリスクを包含する）

2. 契約自由の原則

- (1) 内容 (2) 相手方 (3) 方式（書面・口頭を問わない、形式自由） (4) 締結の有無

3. 契約法の基本的ルール

- (1) 契約の成立要件 (2) サイン権限 (3) 業務代行は契約上どのように捉えるか

4. 基本契約書と個別契約書

- (1) どちらが優先するか (2) 裏面約款の扱い (3) Shrinkwrap License の扱い

5. 契約の条文構成

- ・営業 ・技術 ・サポート ・法務管理

6. 請負か単純役務提供（準委任）か

- (1) 瑕疵担保責任 (2) 債務不履行（善管注意義務違反）
- (3) 義務と努力義務の違い、請負と準委任の違い、業務委託と請負と準委任の関係・違い

7. 請負か派遣か

- ・偽装請負にならないように注意

8. 業務委託基本契約書とSOW

- (1) 業務委託基本契約書＝基本契約書（保証、検収、瑕疵担保責任、成果物の扱い）
- (2) SOW＝個別契約書（作業内容、場所、スケジュール、対価等）

9. 契約違反時の救済の基本的ルール

- (1) 損害賠償請求権 (2) 違約金の合意

10. 知的財産法の基本的ルール

11. 独占禁止法の基本的ルール

12. 製造物責任法の基本的ルール

13. 個人情報保護法への対応

- (1) NDAの守秘義務遵守と営業秘密の管理

14. 各契約書における要注意条項

- (1) NDAの基礎的理解と留意点（進化するNDA） (2) 保証条項（瑕疵担保責任）
- (3) 免責条項と責任制限条項の違い (4) 知財条項（成果物などの権利の帰属）
- (5) 偽装請負防止条項など

15. 印紙税（電子商取引と印紙税）

16. プロジェクトマネージャーにとつての契約管理のあり方

- (1) 単なる窓口ではない契約プロジェクトをスムーズに遂行するためには

17. システム管理者、提供者の法的責任と損害賠償への実務上の指針

- (1) 株式の大量誤発注事件、IBM対スルガ銀行の事例からの教訓

18. Q & Aセッション

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合があります。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。